

教科研究主題

「主体的に学び表現する生徒の育成 ～「根拠を明確にして表現すること」の学習を通して～」

1 単元名 心の動き 教材名「星の花が降るころに」

2 単元について

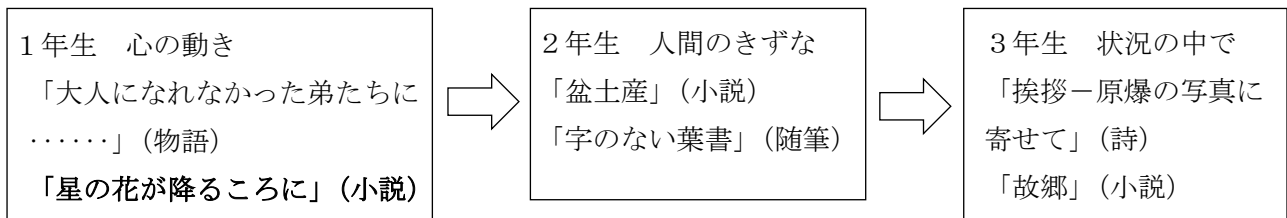
(1) 単元観

この単元では、物語や小説の基本的な読み方を確認していく。描写に着目し、描写と場面、場面と場面を結び付けて解釈することで、登場人物の心情の変化を読み解いていく。作品に出てくる語り手の思いや心の動きに寄り添い、追体験しながら、作品を読み深めさせたい。また、作品には比喩表現や情景描写が多く使われている。表現に着目して作品を読むことで、表現の特徴や効果について考えさせたい。

文章を書くことについて、課題として設定された量で書くことはできるが、内容が薄かったり、途中から伝えたいことが変わってしまったりする生徒が多い。また、一問一答的な知識問題は得意な傾向にあるが、感性を生かして考えるのが苦手な傾向にある。そこで、書き始める前に構想を立て、ねらいをもって文章を書くように指導していきたい。

教科研究主題に関連して、本文を根拠とした作者へのファンレターを書く活動を設定することで、主体的に作品を読むことができるだろう。さらに、好きな表現を挙げて文章を書く活動を取り入れることで、語彙が豊かになると考える。学びの調整を生徒自身で行い、主体性を身に付ける一助としたい。

(2) 指導内容の系統性



前期に学習した物語「シンシユン」では、生徒たちから疑問を挙げさせ、その疑問に対する答えを考えさせる活動を行った。生徒たちは、小学校の学習の中で、場面ごとの登場人物の心情の捉え方については理解しているようであるが、自ら疑問をもち、自分の言葉でその内容をまとめる意識は低いように感じている。また、この単元の前に「大人になれなかった弟たちに……」を学習した。登場人物になりきって質問に答えることで、物語に込められた登場人物の心情を深く捉えさせた。登場人物になりきるためにはどのような活動が必要か、生徒に学習計画を考えさせた。

3 単元に対する生徒の実態

(1) 調査結果 調査人数 16名 調査実施日 7月16日

質問		生徒の回答		
1	読書をするのは好きですか。	好き	3名	・色々な知識が身につくから ・設定やストーリーを読み取るのが好き ・文章を読むのが苦手だから ・好きなジャンルが見つからないから
		どちらかといえば好き	7名	
		どちらかといえば嫌い	3名	
		嫌い	3名	

2	月にどのくらい本を読みますか。	0～1冊9名 ジャンル（小説11名、空想2名、伝記1名、漫画1名、読まない1名）	2～4冊7名	5冊以上0名
3	作文を書くのは得意ですか。	得意	0名	・先生から高得点をもらえたから
		どちらかといえば得意	3名	・文を作るのが好きだから
		どちらかといえば苦手	9名	・どのような構成で書くかわからない
		苦手	4名	・使う言葉がなかなか出てこない
4	自分の意見を発表したり、スピーチしたりすることは得意ですか。	得意	1名	・友人同士で発表し合うのが好きだから
		どちらかといえば得意	1名	・自分から積極的に話せるから
		どちらかといえば苦手	11名	・自分の意見が合っているか不安になる
		苦手	3名	・周りの反応が気になってしまうから
5	登場人物の心情をとらえる活動は得意ですか。	得意	1名	・人物の心情を考えるのが楽しいから
		どちらかといえば得意	8名	・自分の心情と重ねるのが楽しいから
		どちらかといえば苦手	3名	・自分の考えと混ざってしまうから
		苦手	4名	・想像力をはたらかせるのが苦手だから
6	「根拠」を明確にして表現する活動は得意ですか。	得意	1名	・根拠を見つける活動は楽しいから
		どちらかといえば得意	3名	・根拠を明確にすると説得力が増すから
		どちらかといえば苦手	7名	・根拠を見つけるのが苦手だから
		苦手	5名	・どこが根拠かいつも迷ってしまうから
7	何かを調べるとき、あなたならどの手段（メディア）を使いたいですか。	本	0名	・たくさんの情報が得られるから
		インターネット	15名	・素早く調べられ、便利だから
		人に聞く	1名	・人に聞くことで誤った情報が少なく、正確な情報が聞けるから
8	情報を発信するとき、あなたならどの手段（メディア）を使いたいですか。	手書きの作文レポート	6名	・手書きは思ったことをすぐ書けるから
		文章作成ソフト	9名	・使いやすく図や写真も載せられるから
		スピーチ（音声録音）	1名	・自分が伝えたいことをはっきりと伝えることができるから
9	今後、身につけたい国語学習の力は何か。 ※上位2つまで回答可	国語に関する知識	10名	・漢字、文法が苦手だから
		書く力	12名	・よりよい作文を書きたいから
		読む力	0名	・聞き取りが苦手だから伸ばしたい
		話す力・聞く力	8名	・話す力は入試の面接などで必要だから

◎：十分満足できる ○：おおむね満足できる △：努力を必要とする

生徒	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
問1	○	○	△	○	△	○	○	◎	○	△	◎	△	△	○	△	◎
問2	2～4	2～4	0～1	2～4	0～1	0～1	0～1	2～4	2～4	0～1	2～4	0～1	0～1	0～1	0～1	2～4
ジャンル	空想	小説	小説	小説	漫画	小説	空想	小説	小説	小説	小説	読まない	伝記	小説	小説	小説
問3	△	△	△	○	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	○
問4	△	◎	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
問5	△	○	○	○	△	○	○	△	○	△	○	△	○	△	△	◎
問6	○	◎	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△

生徒	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
問7	人に聞く	PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC
問8	手書き	スピーチ	手書き	PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC	手書き	手書き	PC	PC	手書き	手書き
問9	書・話	書く	話・聞	知・話	知・書	書・話	知・書	知・書	知・書	書・話	知・話	話す	知・書	知・書	知・書	知・話

(2) 考察

読書を好んでいる生徒は約6割で、そのほとんどが小説を読んでいることから、普段から読書に親しんでいる学級であることがわかる。その反面、作文を書くことやスピーチをするに関しては約8割の生徒が苦手と回答している。このことから、知識はあるものの、それを書いたり話したりする際に自信をもって表現することを不得手としている生徒が多いことがわかる。

人物の心情をとらえる活動に関しては、約6割の生徒が得意と回答している。その反面、根拠を明確にして表現する活動については約7割が苦手と回答している。このことから、登場人物の心情は比較的読みとれるが、根拠をもって説得力のある意見を述べることには苦手意識が高いことがわかる。

また、約9割の生徒が普段から情報を集める際に、インターネットを使用していると回答したところから、今や多くの生徒がタブレット端末での学習に慣れていることもわかった。いっぽう、情報を発信する際に、約4割の生徒が「手書きがよい」と回答し、約1割が「スピーチがよい」と回答した。

さらに、今後身につけたい国語の力で最も多かったのが「書く力」で約7割の生徒が回答した。また、「読む力」を身につけたいと回答した生徒がいなかったことから、「書く力を伸ばすには、読む力を身につける」という意識が低いこともわかった。

以上の点から、本単元では個別最適な学びの実現を目指し、展開の中で生徒たちが自分に適した方法で表現する場を設定していきたいと考える。また、今年度の研究のテーマでもある根拠を明確にして書く活動を設けることで、文章を深く読む力をつけさせ、生徒たちの「書く力」をさらに伸ばしていきたいと考える。生徒E、J、L、Oへの声掛け等の支援を展開の中で行い、個別支援も意識して行っていきたい。

4 単元の目標

(1) 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現技法を理解し、使うことができる。【知識及び技能】

(2) 場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈することができる。

【思考力・判断力・表現力等】

(3) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合うことができる。

【学びに向かう力、人間性等】

5 指導計画（6時間扱い 本時は5時間目）

実践モデル過程	時	学習活動	観 点 別 評 価 規 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
見いだす	1	○作品を通読し、それぞれの場面の主な出来事をまとめ、あらすじを5文で書く。	○場面分けの視点について理解している。	○場面毎の主な出来事をまとめ、あらすじを書くことができる。	○目標を確認し、学習の見通しをもって計画を立てている。

自分で取り組む	1	○登場人物に着目して黙読し、登場人物ごとに言動を根拠に考えられることをノートにまとめる。	○登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。	○登場人物の言動から根拠となる事柄を見つけ、人物像を捉えることができる。	○学習を振り返り、学びの調整をしようとしている。
	1	○比喩表現や情景描写の効果を理解し、効果を生かした例文を作る。	○比喩表現や情景描写の技法と効果を理解している。	○比喩表現や情景描写の効果を生かした文を書くことができる。	○学習を振り返り、学びの調整をしようとしている。
広げ深める	1	○場面の展開に沿って「私」の気持ちの変化を心情曲線で表現する。	○登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。	○場面の展開に沿って、「私」の気持ちを心情曲線で表現することができる。	○学習を振り返り、学びの調整をしようとしている。
	1 (本時)	○作品の特徴をふまえながら、作者へのファンレターを書く。	○比喩表現や情景描写の技法と効果を理解している。	○作品の内容を解釈し、流れを生かして構想を考えている。	○学習を振り返り、学びの調整をしようとしている。
まとめあげる	1	○互いのファンレターを読み合い、感想を伝え合う。 (必要に応じて推敲する)	○比喩表現や情景描写の技法と効果を理解している。	○表現や構成に着目し、根拠を明確にしてファンレターを書いている。	○自分の作品を振り返り、他の生徒の作品にも触れることで、考えを広げようとしている。

6. 本時の指導

(1) 目標

表現や構成に着目し、根拠を明確にしてファンレターの構想を立てることができる。【思考力・判断力・表現力等】

(2) 教科研究仮説との関連

【教科研究仮説】

- ①見通しをもったり、振り返ったりする活動を計画的に取り入れれば、生徒は主体的に学習するだろう。
- ②一人一人が自分の考えを明確にするために、言葉による見方・考え方を働かせ、考えを形成する場や互いに学び合う場を設定すれば、主体的に学び表現する生徒が育つだろう。

①に関して、第1時で生徒には単元の最後に「作者へのファンレターを書く」という活動を行うことを説明する。ファンレターを書くために、どんな学習や準備をすればよいかを考えさせて計画を立てさせる。また、毎回の学習で振り返りを行うことで、学びの調整の意識をもたせることができると考える。

②に関して、授業の中でアドバイスタイムを設定する。他の生徒から助言をもらうために、今の自分の考えを整理して根拠を明確にして説明するように意識づけることで、より主体的な学びにつながるであろうと考える。

(3) 展開

過程	時配 (形態)	学習活動と内容	○指導上の留意点 ・支援 ○評価 ※研究との関連	教材 資料
見 い だ す	5分 (一斉)	1 前時の学習を振り返り、本 時の学習課題をつかむ。	○学習計画表を配付し、これまでの学習を 確認させる。 ○ファンレターを書くにあたって、作者の 言葉を参考にしよう助言する。	学習計画表 デジタル教 科書
		【学習課題】安東みきえさんへのファンレターを書こう。		
自 分 で 取 り 組 む	5分 (一斉)	2 ファンレターの条件、評価 の観点を確認する。 【条件・評価の観点】 ①字数（４００字～５００字） ②好きな表現、構成などに着目 して書く ③②の理由を、根拠を明確にし て書く	○作品の話の流れを踏まえて考えるよう 助言する。 ○作品の特徴について確認し、これまでの 授業の中で考えたことで使えるものは ないかを振り返らせる。 ○評価のポイントを確認する。 A・・・条件を満たし、且つ、☆も満た している B・・・すべての条件を満たしている C・・・条件を満たしていない ☆・・・自分で情報を集めてくる 例：安藤さんが書いた別の作品や、別の 作者の表現等、比較対象を根拠とし て手紙を書く	ノート 電子黒板
	15分 (個別)	3 ファンレターの構想を立 てる。 【構想の項目】 ・好きな場面について ・登場人物について ・好きな表現について ・構成について ・題名について	○アドバイスタイムを設けることを伝え、 まずは自力で構想を立てさせる。 ・第3時で作った比喻・情景描写の例文を 提示し、参考にしよう助言する。 ・構想を立てられない生徒には、ポイント を助言する。（T2） ◎作品の内容を解釈し、流れを生かしてフ ァンレターの構想を考えることができ たか。 (ワークシート、タブレット等観察)	ワークシ ート タブレット

広 げ 深 め る	20分 (班別) ↓ (個別)	4 構想を基に、作者へのファンレターを書く。 (アドバイスタイムを含む)	○3～4人の班を作り、構想を基にアドバイスをし合うよう助言する。(T2) ○手書き、タブレット打ちで書きやすいものを選択させる。 ・机間指導し、思うように進まない班には助言を行う。(T2) ※自分がどのように書きたいか、根拠を明確にして、友人や指導者に相談するよう助言する。 ・早く書き終えた生徒には下記のAまたはBの課題を選択させ、書くことが難しい生徒には下記のCの課題を選択させる。 A 物語の書き換えを行う B 物語の続編を書く C お気に入りの表現を書く ◎構想を基に、根拠を明確にしてファンレターを書くことができているか。 (タブレット、作文用紙等観察)	ワークシート タブレット 作文用紙
ま と め あ げ る	5分 (個別)	5 本時の学習のまとめと、次時の学習についての確認を行う。	・本時の学習について振り返り、進捗状態を確認し、学習の調整をさせる。 ※本時の学習でわかったことを、根拠を明確にして自分の言葉でまとめさせる。 ○次回はファンレターを仕上げ、友人同士で交流することを伝える。	学習計画表

(4) 板書計画

☆ファンレターの構想を立てよう ※例教科書に載っていない内容を調べ、情報を集めてくる 【評価のポイント】 A…条件を満たし、且つ、☆も満たす B…すべての条件を満たしている C…条件を満たしていない	星の花が降るころに 安東みきえ 安東みきえさんへのファンレターを書こう。 【条件】 ① 四百字から五百字 ② 好きな表現、構成に着目する ③ ②の理由を根拠を明確にする ☆自分で情報を集めてくる
---	--